

上

生き活きと安心できる地域を創生する3つの「生」
～生活福祉・生業・生涯学習～



令和元年～令和6年

上地区地域計画書

上地区住民自治協議会

目次

1. 会長あいさつ……………p2
2. 計画書を読むにあたって……………p3
3. 地区の将来像と自治協……………p4～7
4. 各部会の活動……………p8～15
5. 三部会合同の活動……………p16
6. 活動をより良いものにする為に……………p17、18
7. 策定までの流れ……………p19
8. 上地区で活躍している皆さん……………p20、21
9. 策定にかかわった皆さん……………p22
10. プロジェクト委員会より……………p23



※表紙、1頁、3頁、23頁のイラストは、日指地区に移住されたイラストレーターの島村晃弘さんに書いていただきました。

1. 会長あいさつ



令和元年度
住民自治協議会
会長 熊本 昭憲

上地区住民自治協議会は、「信頼される自治協」を目標に活動していきます。

上地区が置かれている生活現状は、全国の農村と同じように、少子・高齢化、過疎化の下にあります。このような環境のもと、発生するさまざまな課題を解決すべく、「上地区の将来を考えるプロジェクト委員会」を立ち上げ、住民アンケート調査結果を基に、この地域計画書を作成しました。

今後6年間、安心して暮らせる地域づくり、魅力あるまちづくりのために取り組みます。新たな組織で、情報発信、生涯学習の充実、生活福祉の支援、観光・農林業など産業振興の支援、定住促進を進めます。

令和元年が上地区にとって新たな時代の幕開けとなります。今後とも皆様のご理解ご協力をお願いします。

そもそも自治協って何なん？

自治協は、地域内の**住民、各種の団体が連携・協力**して、地域課題を協議、解決する組織です。

特に、地区内で活動している各種団体のネットワーク化、事業の相互補完を図ります。上地区の特色を生かした組織とし、その時々課題への対応はもちろん、この地域計画書に基づいた、**未来を見据えた**事業を実施していきます。

2. 計画書を読むにあたって

(1) 「地域計画書」って何なん？

地域計画書とは、自治協の今後6年間の活動、組織の運営方法の指針となるものです。分野ごとの**活動内容**や、中心となって活動する**役員・部会員の決め方**、組織の**運営の仕方**が書いてあります。

プロジェクト（PJ）委員会を中心に、住民アンケートも取りながら、住民の総意として作成したものです。市役所や大分大学の方にも支援してもらい、何度も会議を重ねました（作成の過程は19頁を見てください）。

(2) 計画書で大事にしたこと

PJ委員会では、計画書を作るにあたって、①「**読みたくなる**」、②「**参加したくなる**」、③「**実現したくなる**」の3つのコンセプトを考えました。

計画書を読んでもらって、これなら参加してみたいと思ってもらい、この計画を実現したいと思ってもらえる計画書になるように気をつけました。

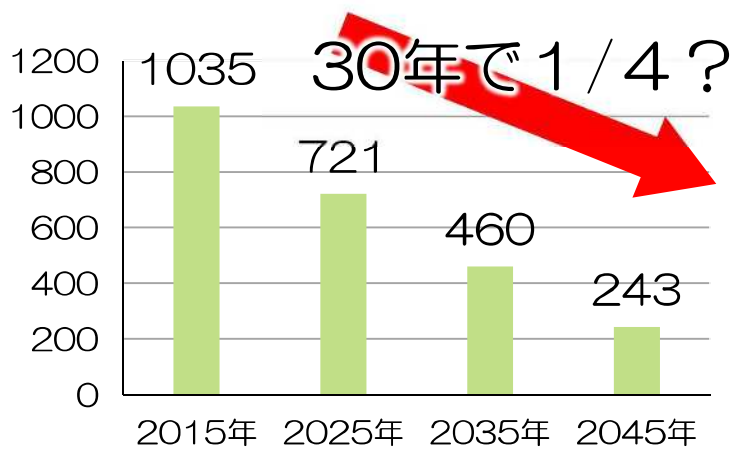
特に、③「**実現したくなる**」を重視した計画書を作成しました。



3. 地区の将来像と自治協

(1) 上地区の人口っちどうなるん？

上地区の人口予測グラフ



※ 杵築市役所政策推進課『住民自治協議会による住民主体のまちづくり構想』（2016年）より。

現状のまま推移すると、地区の人口は、30年後には、250人を下回ると予想されています。

若者の流出防止、移住者の受入などで、急激な**人口減少に歯止め**をかける必要があります。

またこれまでの地域の運営の仕組みを、**身の丈にあった**形に見直していく必要があります。

(2) 上地区が目指す将来像

自治協では、人口減少の中でも、特に以下の3点を大事に、今後の上地区の地域づくり、地域運営を担っていきます。

一人ひとりが**生きがい**を持って生活できる地区を目指します！

住んで**安全**、暮らして**安心**な地区を目指します！

魅力ある里・住みたくなる里を目指します！

前ページでは、上地区の将来に向けての目標を掲げました。その目標を実現するために、自治協の**活動内容**、中心となる**メンバーの集め方**、組織の**運営の仕方**も見直し、より多くの住民の皆さんが、積極的に参加できる組織に生まれ変わります。

（３）これまでの自治協っちどうやったん？

これまでの組織の仕組みは、各区の**公民館長を中心**に運営され、若者や女性が積極的に参加できる仕組みではありませんでした。

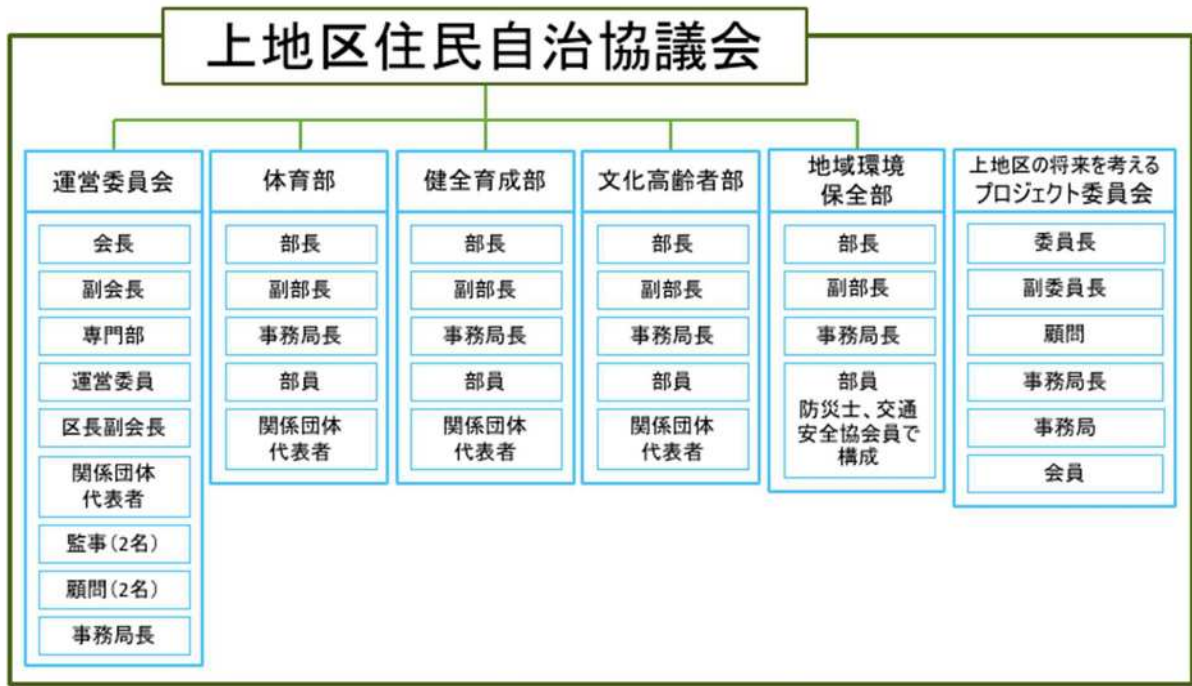
活動の面では、レクレーションや美化活動、健康増進など、**生涯学習に重点**を置く活動が中心でした。高齢化や荒れる農地、山林問題など、地域の様々な課題に対して、十分取り組めていませんでした。

（４）どう見直すん？

- ① 組織の見直しを行い、役員の負担軽減とともに、**若者や女性**も参加しやすい仕組みを作ります！
- ② いままでの生涯学習に加え、防災や福祉、産業などの**幅広い地域課題**の解決にも取り組んでいきます！
- ③ 地区内外に上地区や自治協の活動を知ってもらうため、新しい**交流イベント**や**ホームページ**を立ち上げます！
- ④ **自主財源**を確保し、自立した自治協の運営を目指します！

(5) 組織図はどう変わるん？

1) これまでの自治協の組織図

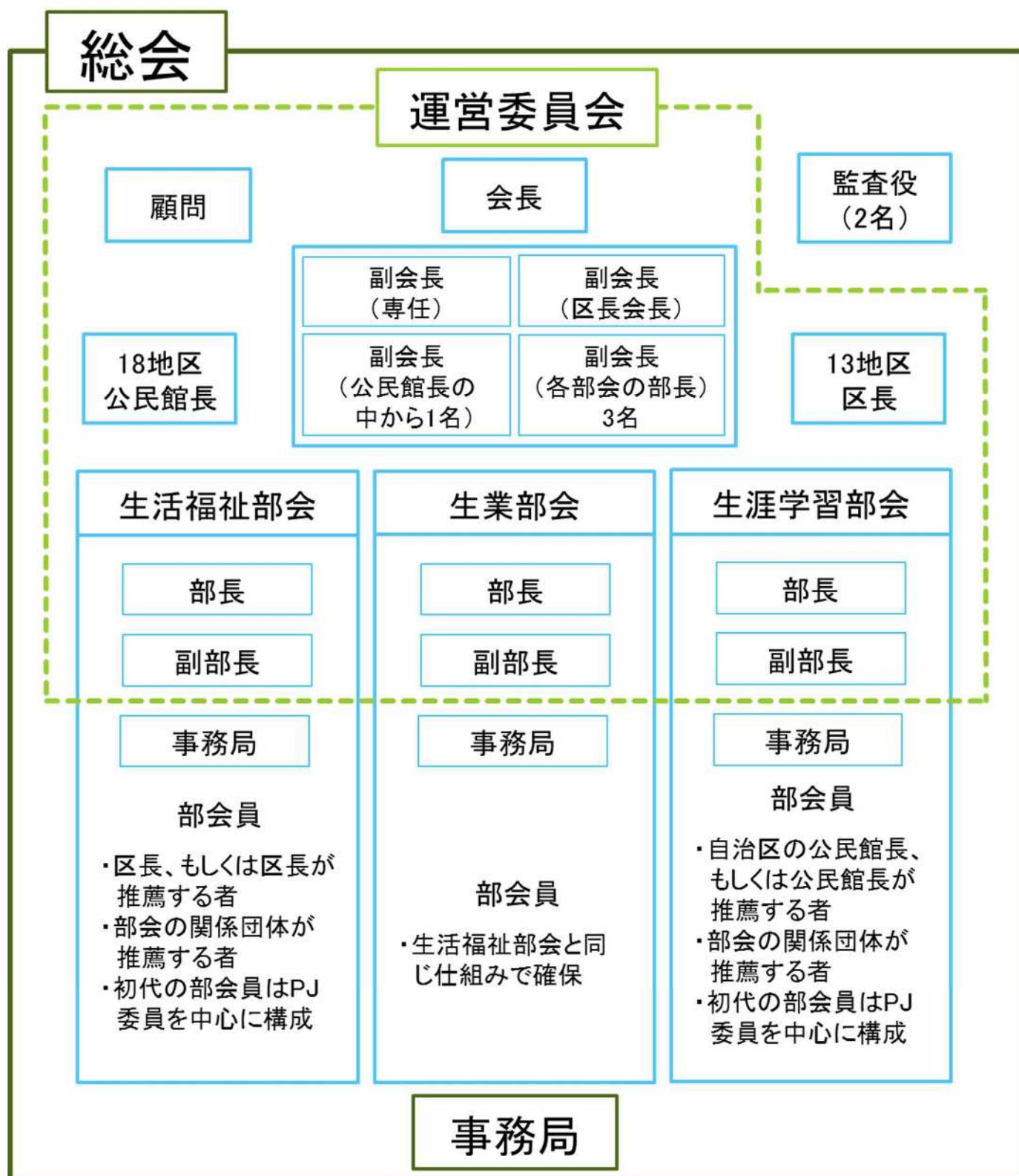


2) 主な組織の変更点

主な変更点は以下の4点です。より多くの人に参加し、活動しやすい組織に変わります！

- ① **部会**を4つから3つに再編します！
- ② **区長**も**運営委員**会に入り、話し合いに加わります！
- ③ **副会長**を3人から6人に増やし、会長を補佐します！
- ④ 部会員には、区、公民館、関係団体の「長」本人だけでなく、意欲や能力のあるメンバーを**推薦**できるようにします。

3) これからの自治協の組織図



4. 各部会の活動

今後の自治協の活動は、3つの部会が中心となって進めます。ここでは各部会が今後6年間、主にどのような活動を行っていくかを、始める時期別に紹介します（ここに書いていない活動も必要に応じて行います）。

（1）生活福祉部会

1) キャッチフレーズ

ささえあい、笑顔あふれる村づくり

2) 意気込み

私達の部会は、住民アンケートの回答で特に多かった、以下の5点を中心に、地域内外の各団体と連携して、活動していきます！

- ・防災力の強化
- ・子育て世代の支援
- ・健康づくり
- ・交通安全運動
- ・高齢者の生活支援

3) 継続していく活動

① 防災フェスタ

防災士を中心に、避難訓練や映像等による研修、消火訓練、AEDの取扱講習会などを行います。



防災フェスタ

② 長寿祭り

長寿を祝い、75歳以上の方を上体育館にお招きし、手造りの昼食や演劇などで、楽しい一時を過ごしていただきます。



長寿祭り

4) 1～2年のうちに取り組む活動

① 危険箇所の点検

- 区長と相談のうえ、危険箇所を防災士
・消防団と一緒に点検します。



第1回上地区ラジオ体操

② 住民総参加「ラジオ体操」開催

- 健康づくりの一環として、健康づくり推進委員と合同で夏休みに開催します。

③ 各地区ふれあいサロン開設支援

- 社会福祉協議会等の指導を受けながら、地区毎に区長・民生委員・福祉委員を中心に、ふれあいサロンの立ち上げを支援します。

④ 通院支援・買い物支援の充実

- 通院支援・買物支援、移動販売車誘致を進めます。

※ 以上の取組みを実施していく為に、65歳以上の方に通院の手段や、各事業サービスの**利用希望アンケート**を行いました。



プロジェクト委員会
での議論の様子

5) 3～4年のうちに取り組む活動

① 防災設備の点検

区長・防災士・消防団と一緒に、地区内の消火栓や防火水槽の設置状況の調査を行います。

② 交通安全設備の点検

交通安全の為に、カーブミラー・ガードレールを点検します。



pixta.jp - 8656701

③ 高齢者交通安全教室の開催

高齢者等を対象に、交通安全協会と合同で、交通安全教室を開催します。

④ 子どもとの「ふれあいデイ」開催

旧上小学校にて、子供達とのふれあい行事を行います。



⑤ 健康出前講座の推進

健康づくり推進委員と合同で、健康出前講座の開催を推進します。

6) 5～6年のうちに取り組む活動

① 上地区ふれあいサロンの開催

旧上小学校にて、地区民交流のふれあいサロンをはじめます。



② 配食サービスの実施

民生委員と連携し、見守りを兼ねた配食サービスを行います。

(2) 生業 (なりわい) 部会

1) キャッチフレーズ

じじ、ばば、牛(も～) 元気な郷づくり

2) 意気込み

農林業の活性化のため農地の維持や
荒廃農地の解消、山林の手入れなどの取
り組みや新たな**観光**資源の発見、開発
を目指し、**創業**支援にも力を入れてい
きます！

※ 生業部会は、新規設立部会なので、
「継続する活動」はありません。



嶽ヶ下清流水田の
もち米の田植えの様子

3) 1～2年のうちに取り組む活動

① 観光のための情報発信

- 地区の観光スポットや特産品を掲載した観光マップの作成
- ホームページ上で、上地区のおせったい等の風習や特産物を紹介
- 将来はネット販売を行い自主財源確保

② 地域おこしアート

雛巡りにあやかって秋の収穫後の田んぼにお雛様や武者の絵を描いたボードを飾り、道行く人の心を和ませます。



4) 3～4年のうちに取り組む活動

① 水田オーナー制・レンタル農園

- ・ 荒廃農地を増やさないために・・・
- ・ 収穫祭の開催・都市部との交流を図り、地域活性化に繋がります。



5) 5～6年のうちに取り組む活動

① 森林整備

関係組織、機関と連携をとり、間伐を推進し、里山の保護を支援します。



間伐作業の様子

② 農地を守る

農用地の維持、保全のための国の事業である、「多面的機能支払交付金制度」と、「中山間地域等直接支払制度」への取り組みを支援します。



農業の多面的機能（資料：農林水産省HPより）

③ 人材活用

技術・技能（スキル）
・ 体力を持っている方々に様々なシーンで問題解消にご協力していただくシステムを作ります（シルバー人材的活動です）。



(3) 生涯学習部会

1) キャッチフレーズ

自然と歴史と健康に、生きがいを感じる地域づくり

2) 意気込み

生涯学習部会では、地域行事や地域活動を通して学ぶ楽しさ、ワクワクをモットーに、住民の意見を取り入れ、**既存の行事**の充実や活動の活性化を図ります。また、**新たな行事**にも取り組むことで、地域外の多くの人にも上地区を知ってもらい、足を運んでもらえる地域作りを目指して活動していきます。

以下にある活動以外にも、地域の皆さんの要望を聞きながら、その実現に向けて取り組んでいきます。

3) 継続していく活動

① **スポーツデー**

(住民アンケートでの**認知度 78%**)

地区対抗でグラウンドゴルフや、カローリングを行い、各順位ごとに賞品を授与。今後は種目を増やし住民全員が楽しめる総合的なスポーツイベントとしての開催を検討していきます。



平成30年のスポーツデー

② 三世代グラウンドゴルフ大会

(住民アンケートでの**認知度 71%**)

年1回の開催で、親、子、孫の三世代家族も参加しています。各順位ごとに賞品もあり、今後はスポーツデーの中に組み込んでの開催を検討しています。



③ パークゴルフ大会

(住民アンケートでの**認知度 52%**)

年1回、近隣のパークゴルフ場で開催。個人単位で競技を行い順位を決めて賞品を授与。今後とも現在のやり方で大会を継続していきます。



平成30年のパークゴルフ大会

3) 1～2年のうちに取り組む活動

① ウォーキングイベント

地区内の自然を感じながら歩き、上地区の良さや特産物を多くの人に楽しんでもらうことを目的としています。内容は、地区内に2, 3コースつくり年1回のイベントとして開催を検討しています。



第1回水の口健康ウォーク

② 憩いの図書室

住民アンケートでの「住民全員が気兼ねなく集まれる場所が欲しい」、との声から、開設を決めました。旧上小学校の教室を活用し、地区住民内外から書籍の寄贈を募り、本を媒体として大人が憩い懇談・懇親が出来る、また、子供が遊べる地域住民憩いの空間を作ります。

令和元年8月16日から一週間プレオープン。杵築市による旧上小学校跡地の改修工事が終了し次第、本格的に開設します。



プレオープンの様子

4) 3～4年のうちに取り組む活動

① 男の料理教室

趣味の教室が欲しいとの意見があった事、また高齢化時代にそなえ、男性も簡単な料理ができるように、旧上小学校校舎を利用し、料理教室を開催します。開催にあたり指導者などが今後の課題です。

② 子ども食育一元化教室

農業体験を通して地域の子供たちに食や農業の喜びを知ってもらい、豊かな心と身体を育てます。実施するにあたり、場所や参加人数等が今後の課題です。

③ 全上地区盆踊り大会

旧上小学校グラウンドを利用して地域の交流の場を設け、盆踊りを検討したい。開催にあたり太鼓、くどき、資金面、参加人数等が今後の課題。各地区の開催状況を見つ、移行予定です。



迫田の盆踊りの様子

5. 三部会合同の活動

今後の自治協の活動は、3つの部会が中心となって進めますが、全部会が横断的に、協力して取り組む必要のあるテーマもあります。ここでは各部会が連携して進める事業について紹介します。

(1) 移住・定住対策－人口減少に歯止めを－

人口減少を食い止めることは緊急の課題です。特に、人口の社会増減（生死でなく、引越しによる増減）は地域の取り組み次第で、大きく変わります。アンケートでも、上地区では、他地区以上に移住受入への関心が高くなっています。私たち自治協は以下の基本的な考えを持ち、効果的な対策で移住定住対策を促進します。

- ① 行政との情報共有と連携強化
- ② 移住者(希望する人含む)のニーズの掘り起こし
- ③ 移住者交流会などの定住支援の展開 など

(2) 小学校跡地活用・改修

閉校しましたが、小学校は引き続き地域の心のよりどころであるとともに、今後の上地区の活性化の拠点施設でもあります。

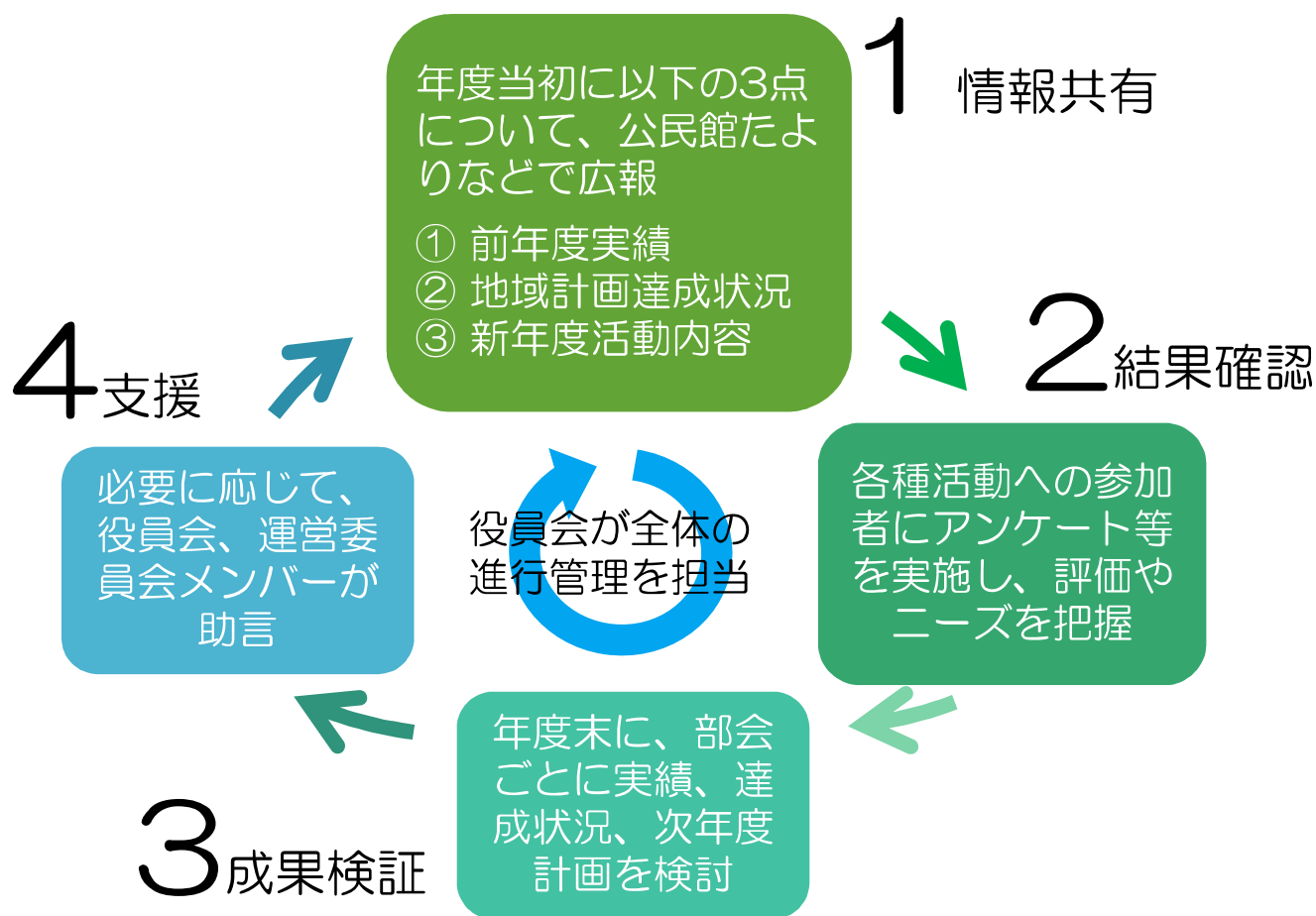
令和元年11月末に、この地域計画書を市役所に提出した後、施設の利活用や改修についての具体的な協議を始めます。



6. 活動をより良いものにする為に

今後の自治協の活動計画を紹介しましたが、それらを実現するのは、私たち一人ひとりの行動です。どうすれば、より多くの計画が実現できるか、また住民一人ひとりが、楽しくやりがいを持って活動できるか、その実現のための仕組みが必要です。

(1) 活動・運営の点検の仕組み



役員会の進行管理の下で、情報共有→結果確認→成果検証→助言等の支援、というサイクルで、計画の実現を目指します。

(2) 会議の進め方

自治協では、以前から会議の円滑化のためのルールとして「**スッ
キリ5原則**」を決めて、毎回の会議資料にも載せています。

スッキリ5原則

- ①「目的と結論」をスッキリ
- ②「会議・進行」をスッキリ
- ③「資料」をスッキリ
- ④「議論」をスッキリ
- ⑤「共有と確認」をスッキリ

計画書策定にあたって、PJ委員会では、大分大学の協力の下、会議の仕方も工夫しました。参加する全員が、自由に意見を出し、みんなで話し合えるように、新たに「**ナイナイ3原則**」を定めて実践しています。

ナイナイ3原則

- ① 結論を求めすぎナイ
- ② 1人でしゃべり過ぎナイ
- ③ 否定しナイ



学生と一緒にグループワーク

スッキリ5原則と、ナイナイ3原則は、計画書策定のためだけでなく、**今後の自治協の会議や打ち合わせのルール**としても、大事にしていきたいと思っています。

この2つの原則で、より多くの方が、積極的に自治協の活動に参加しやすくなるとともに、自治協の活動がより活発化するものと考えています。ご協力よろしくお願いします。

7. 策定までの流れ

(1) 策定の役割分担

地域計画書策定に当たっては、主にP J委員会の全体会、拡大役員会、各部会の3つの会議を行ってきました。

P J委員会：計画策定の全体の方針や内容の確認、7回開催

役員会：組織見直し、目次構成、スケジュール管理、37回開催

各部会：それぞれの部会の活動計画等の検討、計55回開催

(2) 策定のスケジュール

平成30年	03月	第1回役員会、第1回P J委員会
	07月	支援員配置、大学生との顔合わせ、住民アンケート配布、大分大学訪問研修
	08月	アンケート回収
	10月	区長会、自治協運営委員会、P J委員会合同会議
	11月	アンケート分析結果共有、3部会立ち上げ
	12月	これまでの自治協の活動の振り返り
	01月	各部会活動計画案検討
平成31年	02月	鹿児島県鹿屋市「やねだん」視察
	03月	東山香自治協との意見交換会
	04月	自治協定期総会でP J委員会での議論の経過報告
令和 元年	06月	移住者意見交換会、計画書の文章、写真、挿絵準備
	07月	活躍している方インタビュー、計画書のデザイン検討
	08月	P J委員会で3部会合同事業内容検討
	09月	P J委員会としての計画案の確定、区長会、公民館長会で計画案の了承

8. 上地区で活躍している皆さん

上地区の活性化には、住民一人ひとりがやりがいを持って、生きいきと活動することが大切です。ここでは、**各部会が推薦**した、上地区で活躍している皆さんを紹介します（なおインタビューは、令和元年7月に、大分大学の学生の皆さんが行いました）。

自治協では、部会の活動を通じて、上地区でがんばる皆さんと連携、応援していきます。是非いっしょに上地区を盛り上げていきましょう！

インタビュー項目

- ① 上地区の好きなところは？
- ② 自治協とのかかわりは？
- ③ 活動のやりがいは？
- ④ 上地区の皆さんへのメッセージ

（1）けとろく劇団

- ① 水がすごく綺麗なところ
- ② 婦人部15人で劇団を作って病院に訪問したりしてコントなどを行っています。
- ③ 多くの人が真剣に笑ってくれるところ。
- ④ 地域には独居暮らしの人が多く、劇団メンバーはサロン活動も行っています。

サロンを通して村おこしができると良いなと思っています。



平成28年の上小学校
運動会での集合写真

※**生活福祉部会**からの推薦理由

農家の女性を中心に団を結成し、地域に元気と笑いを届けてくれるから。

(2) 伊藤とも子さん (楽四季舎)

- ① 素朴で人柄がいい所
- ② 部会には直接関わっていないが、楽四季舎として上地区の**イベントに出店**するなど、協力している。
- ③ 個人で協力できないが、**会社単位で協力**できることがうれしい。
- ④ 高齢者も子どもも**集まれる活動**があるから是非足を運んでほしい。



パンの焼きあがりを見る伊藤さん

※**生業部会**からの推薦理由

イベント等に積極的に出店して頂き、相乗効果を期待しています！

(3) 松下和正さん

- ① 人が優しく隣近所の仲が良いところ。
- ② ウォーキング大会の**先導役**をしました。伝統芸能である**上神楽の指導**をしてきました。
- ③ やりがいというよりも**地元が好きだから**活動できています。
- ④ 地区のイベントにもっと上地区住民も参加してほしい。神楽などの伝統芸能が続いてほしい。



インタビュー中の松下さん

※**生涯学習部会**からの推薦理由

伝統の神楽を長年続けられ、子供神楽でもご指導くださいました。今後も後継者を多く育て、地域を盛り上げてほしいので推薦しました。

9. 策定にかかわった皆さん

1年以上に及んだ計画書づくりの中心的なメンバーを紹介します！

プロジェクト委員会・委員長 石川 文男

生活福祉部会

楠本 幹男	加藤美恵子	松下 康幸	阿部由香里	岩男 正一
尾倉 良明	小野 一敏	加藤 吉秀	河野 竜美	河野 寿幸
曾根崎雅子	長野 幸生	吉岩 友子		

生業部会

土師 剛	阿部 章司	安部 一美	赤井三代子	安部新太郎
伊藤 来	伊藤 美生	加藤 義雄	切封 由信	熊本 昭憲
豊田 一隆				

生涯学習部会

菅原 英樹	渡辺 貴春	高木 理恵	安部 忠則	井福 昭道
上野 真矢	宇都宮清治	緒方袈裟昭	加藤 雄一	古屋 照生
松下 和正	渡辺 康文			

ホームページ作成

加藤 雄一	菅原 英樹	宗野 祐二
上野 真矢	高木 理恵	

イラスト
島村 晃弘

事務局 渡辺信夫・森崎繁次（公民館長） 船尾はるな（支援員）

大分大学経済学部「田舎で輝き隊！」

表 知佳	元城沙友里	渡邊 真菜	工藤幸太郎
木下裕太郎	関 莊太	目野 寛人	時任佑樹哉
鶴我 直人	甲斐 梓	河野 貴裕	脇山 凌央
山浦 陽一			



10. プロジェクト委員会より

平成30年2月、「上地区の将来を考えるプロジェクト委員会」が立ち上がりました。

それから約1年半、過疎・高齢化が進み将来的には地区の人口が四分の一に減少すると予測されている私達「上地区」の活性化と、安全で安心して楽しく暮らせるにはどうしたら良いか、人口減少を食い止め、逆に人口をどうしたら増やすことが出来るか等々の事を、三部会構成で検討してきました。

ここに、一応の結論を出すことが出来、プロジェクト委員会として諮問された課題を上地区住民自治協議会へ答申できることになりました。

ここに至るまでプロジェクト委員会委員の方々は勿論、大分大学山浦ゼミの山浦先生・ゼミの方々、杵築市関係部所の方々には大変な努力とご協力を頂き感謝いたしております。

今後、この計画は組織が一新された上地区住民自治協議会で逐次実行されて、上地区がよりよい地区に成って行く事を期待しています。



上地区の公式ホームページとInstagramを開設しました！
各部会からのお知らせやイベントのお知らせ、
上地区の伝統的な上神楽の紹介、上地区の名所、
そして自治協事務局のつぶやきも見られます。
地域の魅力が見るだけで分かるホームページとインスタです。
皆さん是非見てください！

見ちよくれな！

ホームページ・Instagram

<https://www.kami-oita.com/home>

<https://www.instagram.com/kamichiku.official/>



上地区住民自治協議会

〒879-1313

大分県杵築市山香町

大字久木野尾39/8番地

電話（9～17時）：0977-78-0202